

13春闘 第2回交渉行おう!!

貨物労組本部は、本日、13春闘の第2回交渉を行い、会社より収入動向について説明がありました。

収入動向

- ① コンテナ輸送は紙パルプや災害廃棄物が引き続き好調であるが、自動車部品や化学薬品が減送となっている。特に自動車部品はエコカー減税が終了した為に急激に落ち込んでいる。コンテナ収入は対前年比 98.2%である。
- ② 車扱輸送については、寒さが厳しい事から灯油の出荷が旺盛となっているものの、ガソリンの価格が高騰している為に需要減となっている。昨年は臨時列車が運行されていた反動もあり、車扱収入は対前年比 75.6%である。
- ③ 2月19日までの輸送概況は収入計画に対して最低限の落ち込みである。
- ④ 関連事業については、駐車場の契約延伸・建物貸付・物販・土地売却などの増収策を実施した結果、24年度の落ち着き見込みは、10月期改定計画の321億円を上回る323億円を想定している。

組合

- ① 収入未達が続く中、収入を確保する具体策はあるのか。
- ② 多発する輸送障害に対して荷主の逸走を防ぐために会社としてどのように対応するのか。
- ③ 25年ダイヤ改正における23億円の収入効果は実現可能なのか。
- ④ 平成24年度の収支の落ち着き見込みと今後の展望を明らかにすること。

会社

- ① 新規荷主の開拓や余席販売、ソリューション活動の推進もあるが、既存荷主に対して増送を依頼していくことに重点を置く。
- ② 経営幹部に対し、経営会議などで営業の現状は伝えており、荷主の逸走を防止するために必要な対策は講じていく。
- ③ 一部の列車について荷物が集まっていない状況だが、引き続き荷主へ売り込んでいく。
- ④ 現時点、落ち込み見込みは数値化できないが、引き続き黒字確保を目指してあらゆる方策をとる。

**収入未達の責任を私たちに転嫁することは許されない(怒)
収入計画を達成できない経営陣に対して職場から抗議しよう!!**